



静脈注射Ⅲ-b CVポートへの穿刺・抜去



2年目看護職員および新任者の計65名が静脈注射Ⅲ-b（CVポートへの穿刺・抜去）を受講しました。CVポートへの穿刺・抜去に関する講義を事前にDVDで視聴し、トレーニングモデルを使用して演習しました。研修者は、CVポートの管理方法について根拠に基づきながら学んでいました。合併症についても確認し、観察の視点へとつなげていました。初めてのポート針の穿刺と抜去に難しさを感じていましたが、指導のもと手技を獲得していました。



セプタム、ポートの外周、ポートとカテーテルの接続位置を実際に触り、確認しました。



消毒は、ドレッシング内部の衛生環境を維持するために、広範囲に消毒することを学びました。



正しく穿刺を行えた時の「コツ」という感覚を体験しました。



ヒューバー針を皮膚に対して垂直な角度で穿刺することを意識していました。



針を固定する際は、患者の皮膚の状態に応じたドレッシング剤を選択したり、刺入部位が観察できるような貼付の仕方を検討していました。



ポートの管理方法以外にも、キョクイファイナルチェックや滴下速度の計算、滴下速度の調整についても改めて確認しました。



効果的なパルシングフラッシュをするためには、断続的にシリンジの内筒を押して波動を起こすことが必要であることを理解していました。

